

令和6年度 地学基礎 シラバス

科目名	地学基礎	単位数	3 単位	対象 部・年次	1・2 部 4 年次選択
使用教材					
教科書等	改訂『地学基礎』（東京書籍）			副教材	なし
学習の目標					
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	第1編 私たちの宇宙の進化 第2編 私たちの地球の変遷と生物の進化			宇宙の始まりから、太陽系の広がりや太陽系の天体の存在を学ぶ。 地球の内部構造や成り立ちについて深く学び、それに伴う地震活動や造山運動について理解する。 地質構造の変形から古い時代に起こった地殻変動がわかること、またその内容を理解する。	
	第3編 私たちの大地 第4編 私たちの空と海・地球のこれから			大気には層構造があること、 大気圧や大気組成について学ぶ。太陽放射や地球放射によって地球全体のエネルギーバランスがとられていることを理解する。 太陽系の広がりや太陽系の天体の存在を学ぶ。 身近な自然環境や自然がもたらす恵みと災害、自然と人間の関わり方について理解する。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
趣旨	地学の現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。		自然界における地学的な現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界における地学的な現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	・出席の状況。 ・提出物の提出状況及びその内容。 ・授業プリントの作成状況とその内容。		・発表の内容。 ・定期考査の中に「思考・判断・表現」を問う問題を出題する。	・「観察・実験」等の学習活動におけるレポートの提出状況及びその内容。 ・「観察・実験」等の取組の様子。 ・定期考査の中に「観察・実験」の技能を問う問題を出題する。	・定期考査及び小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。
配点 (pt)	200		100	100	600
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を持つこと。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。					

令和6年度 地学基礎 シラバス

科目名	地学基礎	単位数	2 単位	対象 部・年次	3 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『地学基礎』（東京書籍）			副教材	なし
学習の目標					
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	第 1 編 私たちの宇宙の進化	宇宙の始まりから太陽系の広がりや太陽系の天体の存在を学ぶ。			
	第 2 編 私たちの地球の変遷と生物の進化	地球の内部構造の成り立ちについて学び、それに伴う地震活動や造山運動について理解する。 地質構造の変形から古い時代に起こった地殻変動がわかること、またその内容を理解する。			
後期	第 3 編 私たちの大地	大気には層構造があることや、 大気圧や大気組成について学ぶ。太陽放射や地球放射によって地球全体のエネルギーバランスがとられていることを理解する。			
	第 4 編 私たちの空と海・地球のこれから	太陽系の広がりや太陽系の天体の存在を学ぶ。 身近な自然環境や自然がもたらす恵みと災害、自然と人間の関わり方について理解する。			
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
趣旨	地学の現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然界における地学的な現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界における地学的な現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価の方法	・出席の状況。 ・提出物の提出状況及びその内容。 ・ノートの作成状況とその内容。	・発表の内容。 ・定期考査の中に「思考・判断・表現」を問う問題を出題する。	・「観察・実験」等の学習活動におけるレポートの提出状況及びその内容。 ・「観察・実験」等の取組の様子。 ・定期考査の中に「観察・実験」の技能を問う問題を出題する。	・定期考査、北高検定及び小テストの中に「知識・理解」を問う問題を出題する。	
配点 (pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を持つこと。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。					